

令和 4 年 2 月 10 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	・市長が市内各地区（旭市地区2か所並びに海上地区、飯岡地区及び干潟地区それぞれ1か所の計5か所）に赴き、直接市民と話し合い地域の課題を伺うとともに、新しいまちづくりや地域の将来に対する意見・提案をいただく。 ⇒市長協議の結果、令和元年度より地区懇談会を地域意見交換会と改め、開催数を2回（海上公民館と総合体育館で1回ずつ）に減らし、市民の参加を区の役員等に絞り、一般職員の参加をなくした。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
平成17年の合併後、広く各地区の要望・意見等を聞きたいという意図で始まった。	新しいまちづくりや地域の将来に対する意見・提案というよりは、個別の要望等を発言する場となっている。	市民から休日開催についての要望が寄せられた。⇒H26年に実施。以降実施していない。

従事職員数 常時 1 人 最大 1 人 × 0 日 = 延べ 人

① 主な活動		③ 活動指標名		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
手段	2年度実績(2年度に行った主な活動)								
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になった。	ア	開催回数(箇所数)	回	5	5	2	0	2
		イ							

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
目的	対象								
	意図	ア	市民の参加人数	人	214	196	140	0	150
	対象意図	イ	要望・意見数 (市民が積極的に市政に参画・協働する。)	件	54	54	30	0	32

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨	(7)		

Year	ア (Number of People)	イ (Number of People)
H29	210	230
H30	200	230
R1	140	120
R2	0	0
R3 計画	150	130

評価内容	① 進捗状況 ☐完了 ☐進捗調 ☐概ね進捗調 ☒停滞 ☐実施困難														
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況 成果指標ア 成果指標イ 数値増＝成果向上 数値増＝成果向上 ☐向上 ☒横ばい ☐低下 ☐向上 ☒横ばい ☐低下 成果比較 成果動向 28年度 29年度 30年度 1年度 2年度 29年度 30年度 1年度 2年度 3計画														
	【コメント】 (低下の場合、その理由)														
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったため。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったため。														
③ 今年度取組事項 3年度に取り組む主な事項について記載) 時期 内容 今後の方向性															
8月～10月 R2年度に行った市長協議ではR3年度は開催することになっているが今年度改めて市長協議し確定となる。 ☐拡大 ☐縮小 ☐現状維持 ☐廃止・休止 ☐見直し ☒その他(市長協議)															
8月 開催の有無や開催方法について市長協議を行い決定する。															